



“ 人の来ぬ

谷のはたなる 野天湯の

ゆるきにひたる いつまでとなく ”

若山 牧水 （湯ヶ島にて詠う）

巨大地震から自分の命を守れる子に…！



【 ↑ 地震を想定した避難訓練 5/10(金) 】

天城小学校では5月10日(金)、地震発生を想定した避難訓練を実施しました。

「揺れが収まりました。素早く避難を開始しなさい。」という指示から全校児童が運動場に集合し終わるまで、3分02秒という素早い避難ができました。子供たちの表情はとても真剣で、落ち着いて、しゃべらずに、黙々と行動する姿が印象的でした。入学してまもない1年生たちも、初めての避難訓練でしたが、担任や支援員の指示に従い、戸惑うことなく全員が整然と避難行動をしており、成長を感じさせられました。

今後とも、様々な想定で避難訓練を実施していきます。

【訓練後の校長の講話より】

- ・「今日の避難訓練は、とてもよくできました。今回の訓練のように、揺れたら机の下にもぐったり、揺れが収まったら安全な運動場に避難したりすることが、先生方がいなくても自分たちだけでできるようになってください。」
- ・「一番心配なのは、学校の行き帰りに地震が起きた時です。自分たちだけで登下校していて地震にあった場合には、自分の命を自分で守らなければなりません。そんな時、どのようにして自分の身を守るのか、安全な場所を見つけるのか、どうやって家族と連絡を取り合うのか、家族みんなで話し合ってみてください。」

未来の教育者を夢みて…！



【 ↑ 外国語の支援をする中学生(前方左側) 】

5月23日(木)～24日(金)。4名の天城中学生が、母校に職業体験にやってきました。

4名はいずれも「指導者の姿、子供との関わり方を学びたい。」という明確な目標を持ち、真剣な表情で二日間のスケジュールに取り組んでいました。小学生たちは、先輩の真剣な姿、指導者を目指そうと頑張っている姿を、きっと憧れの思いを抱いて見ていたことでしょう。

将来どんなに科学技術が進歩しても、AIが発展して産業構造が変わっても、教育の場がなくなることはありません。この天城地区から、教育の道に進む人が一人でも多く生まれることを望んでいます。

裏面もご覧ください

月行事予定

6月			7月		
1	土		1	月	委員会
2	日		2	火	
3	月	1,3,5年耳鼻科検診 委員会	3	水	朝会 通学地区会 集団下校 SC
4	火		4	木	
5	水	ステージ会 引き渡し訓練 SC	5	金	避難訓練(不審者) SSW
6	木	弁当の日 5年自然体験教室	6	土	
7	金	5年自然体験教室	7	日	
8	土		8	月	特4 保護者面談
9	日		9	火	特4 保護者面談
10	月		10	水	特4 保護者面談 SC PTA運営委員会
11	火	クラブ 1～3年特4	11	木	特4 保護者面談 支援学級なかよし交流会
12	水	QUテスト 6年交通リーダーと語る会 SC	12	金	特4 保護者面談
13	木	1, 2年歯科教室	13	土	
14	金	3, 4組, 4年歯科教室	14	日	
15	土		15	月	海の日
16	日		16	火	
17	月		17	水	SSW
18	火	クラブ 1～3年特4	18	木	
19	水	授業参観 懇談会 CS推進委員会 SC	19	金	
20	木	5年歯科教室	20	土	
21	金	3, 6年歯科教室	21	日	
22	土		22	月	
23	日		23	火	特5 終業式
24	月		24	水	夏季休業～8/26(月)
25	火	クラブ(最終)	25	木	
26	水	内科・結核・運動器検診 SC	26	金	
27	木		27	土	
28	金	民生児童委員との懇談会	28	日	
29	土		29	月	
30	日		30	火	
			31	水	

SC: スクールカウンセラー
SSW: スクールソーシャルワーカー 来校

資源回収へのご協力 ありがとうございました



5月18日(土)に、資源回収を行いました。地域や保護者の方々のご協力により、たくさんの資源を集めることができました。ありがとうございました。当日の収益は、**94,390円**で、昨年度よりも上回りました。子供たち、学校環境改善のために有効に使わせていただきます。

次回は、11月16日(土)に予定しています。

また、学校下駐車場の資源回収小屋と児童昇降口のアルミ缶回収袋は、いつでもご利用頂けますので、ご協力頂けると幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

縦割り活動 本格的にスタート

縦割りの活動が、1年生を交えて本格的に始まりました。縦割りの班での遊びでは、どの学年からも笑顔で、思い切り楽しむ姿が見られました。清掃では、6年生がリーダー性を発揮して下級生に指示を出し、みんなで協力して取り組んでいます。異学年での交流活動を通して、これからも自己有用感、自己存在感を高めてほしいです。

